

●基壇改修工事

今年度は基壇きだんの外装石材を解体し、補足石材を用いて組立を行います。基壇解体の際に旧基壇の石材と瓦が出土しました。現在の工事の状況と出土した石材や瓦について簡単にご紹介します。

基壇とは建物の重さを支える頑丈な人工の地盤で、西塔の基壇は壇正積基壇だんじょうづみと呼ばれる格式高い基壇です。建物を立派に見せるためや建物内に雨水が入るのを防ぐため、外装に切石を用い、切石を積み重ねてつくります。また、平安時代以前と思われる南西隅の束石は石燈籠と同じ、松香石しょうこうせきと呼ばれる凝灰岩ぎょうかいがんでした。今回の修理では風食し、傷んでいた大正修理時の石材を新しいものに取り替えます。

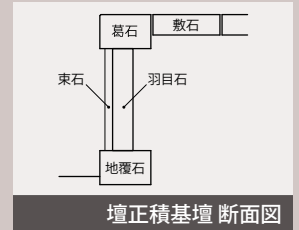
現在(2019.11)、基壇の解体が終了し、組立を行っています。地覆石じふく・束石つか・羽目石はめ・葛石かつらの組立を終え、敷石しきを基壇上面に敷き並べています。



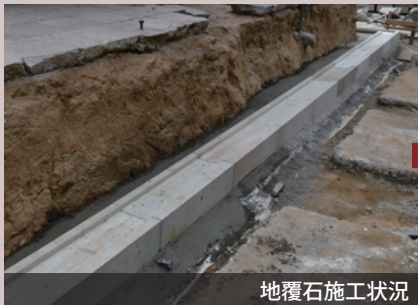
基壇 修理前破損状況



南西隅束石



壇正積基壇 断面図



地覆石施工状況



羽目石施工状況



地覆石・束石・羽目石・葛石施工完了



基壇外装解体状況



発見物 梵字文軒丸瓦



発見物 旧基壇石材

基壇解体の際にほんじ もんのきまるかわら梵字文軒丸瓦と言われる瓦が出土しました。花卉の中に梵字が書かれている瓦で、當麻寺では数種類の梵字文軒丸瓦が今までに発見されています。なお、葛城市歴史博物館の只塚廃寺出土瓦には、西塔基壇から出土した瓦と同じ文様の梵字文軒丸瓦があります。

また旧基壇の石材と思われる凝灰岩が出土しました。中には長さ約1mもある地覆石と思われる石材も出土しています。

平成28年(2016)から始まった西塔保存修理事業も、来年12月の事業終了まで残り約1年となりました。ご不便をお掛けしておりますが、よろしくお願い致します。

発行 奈良県地域振興部文化財保存事務所
〒630-8501 奈良県奈良市登大路町30
電話 0742-27-9865
FAX 0742-27-5386
ホームページ <http://www.pref.nara.jp/1700.htm>



発行日 令和元年11月20日



なお、掲示物は国庫補助事業により作成しております。